

第1学年1組 算数科学習指導と評価の案

日時：平成17年10月7日（金）

場所：1年1組教室

授業者：船坂まゆみ（T1） 渡辺洋子（T2）

1. 単元名 3つのかずのいさん
2. 本時の目標 減少が続いて起こる場面を、 $a-b-c$ の減法の式に表し、ブロック操作を通して、結果を求めることができる。
3. 本時の評価規準 〈数学的な考え方〉 犬が船から降りていく具体場面から、ひき算の場面であると考え、ブロック操作を根拠として $9-3-2$ の減法の計算の仕方を考える。
4. 子どもづかみの具体
 - 学ぶ意欲：加法が続いて起こる場面を、ブロック操作したり式に表したりして進んで解決できている。
 - 学ぶ力：既習の内容を生かし、『のる』の言葉に着目して、ブロック操作をしたり立式したりできている。
 - 学び得た力：具体場面を式に表す良さを知り、学習に生かすことができる。
5. 本時の展開（2 / 4 時）

過程	主な学習活動	研究内容の具現のための手立て
問題提示	<p>1. 犬が船を降りている場面を見て問題をつかむ。</p> <p>問題：ふねに犬が9ひきのっています。3ひきおりました。そのあと2ひきおりました。のこりはなんびきになったでしょう。</p> <p>2. 犬の数を求めるための見通しを持つ。</p> <p>「今までと違うことは何ですか？」</p> <p>・まえは犬がのっていったけど、きょうはおりていく。(いぬがへっていく。)</p> <p>「問題から見つけましょう。」</p> <p>・わかっていることは、9ひき、3ひきおりました、2ひきおりました。だいじなことは、おりた、おりた。さいていることは、犬はなんびきになったか。</p> <p>3. 犬が何ひきになったか考える。</p> <p>課題：へってまたへる3つのかずのもんだいを、ブロックをつかっておはなししよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面を具体物（絵）で表すことにより、犬の数が増えたり減ったりする問題場面であることを理解しやすくする。（研究内容2-①） ・ 問題文から、大切な言葉を見つけ、確認することで本時で求めることを明確にして、課題化につなげる。（研究内容4-①） ・ ネームプレートにより学び方を明示することにより自己選択の様子を把握する。課題追究で教師の支援を受けたい児童は廊下側、自力解決をしようとする児童は窓側の席に移動する。（研究内容4-④）
課題化	<p>支援を受ける先生コースと、自力解決する自分コースの学び方別のコースを選択するため、ネームプレートによる自己決定をする。</p>	<p>T1・T2の役割評価 評価規準に達している児童はT2、達していない児童はT1が援助にあたる。</p>
課題追究	<p>4. ブロック操作をして、犬が何ひきになるか考える。</p> <p>はじめに車に乗っている数の9匹を置く。 □□□□□□□□</p> <p>次に3匹を取る。 □□□□□ → ■ ■ ■</p> <p>最後に2匹を取る。 □□□□ → ■ ■</p> <p>式① $9-3=6$ $6-2=4$ 答え（4ひき）</p> <p>式② $9-3-2=4$ 答え（4ひき）</p> <p>※ 児童同士でお話を聞き合う。（ペア 任意）</p> <p>ブロック操作をしながら話すことにより、自分の考えを確かにする。</p>	<p>つますきの様相</p> <p>C1：場面に対応させてブロック操作ができない、または、途中でブロック操作が止まっている。</p> <p>廊下側でのT1の支援</p> <p>問題の順にブロックを置いていこう。はじめは何匹いますか。次に何匹降りましたか。最後は何匹降りましたか。</p>
解決	<p>5. 全体で求め方を確かめる。</p> <p>「なぜはじめの9匹から3匹取ったのですか。」</p> <p>・3ひきが、ふねからおりたからです。</p> <p>「次に2匹取ったのはなぜですか。」</p> <p>・2ひきが、またふねからおりたからです。</p> <p>「$9-3=6$と $6-2=4$ の2つの式を、式2のように1つの式に表すこともできます。」</p>	<p>C2：ブロック操作はできるが、お話と結びつけて考えることができない。</p> <p>「はじめに、つぎに、さいごに」の言葉を使いながら先生と一緒に話していこう。順番にひいていこうだよ。</p> <p>C3：ブロック操作はできるが式に表すことができない。</p> <p>お話の順番に3つの数をひき算の式に表してみよう。</p>
一般化	<p>まとめ：へってまたへるもんだいのしきは、□-□-□ でじゅんばんにけいさんしていけばよい。</p>	<p>窓側でのT2の支援</p> <p>A・B：立式し、ブロック操作とお話ができる。</p> <p>式をつくることができたなら、先生や友達にもブロックでお話してみよう。</p>
評価	<p>6. 評価問題をとり組む。</p> <p>ふねに犬が9ひきのっています。5ひきおりました。そのあと3ひきおりました。いぬはなんびきになったでしょう。$9-5-3=1$（1ひき）</p> <p>〈評価問題の意図〉 ブロック操作でお話ししながら問題の式と答えを求めることができるか確かめる。</p> <p>7. 自己評価と教師による評価をする。</p> <p>①今日の勉強はわかりましたか。 ②自分の考えが話せましたか。 ③友達の考えがわかりましたか。</p>	<p>（研究内容3-③）</p> <p>・1時間のがんばりを自覚し、次時への意欲につなげることができるように、自己評価と教師の評価を位置づける。（研究内容4-⑧）</p>